



研究教員中間検討会

はごろも学習センター 宜野湾市立教育研究所 R2.11.25

研修以外に教育の王道なし

友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わうための援助の工夫
-様々なごっこ遊びを通して-

主体的に学び、自己の考えを深める道徳科の授業づくり
-多様な考えをつなぐ指導方法の工夫を通して-

よりよい人間関係を築く自主的、実践的な態度を育むに
学級活動の工夫
-アサーティブな自己表現を用いた話し合い活動を通して-

幼児教育 はごろも幼稚園 教諭 山口ルミ

道徳教育 志真志小学校 教諭 又吉和華

特別活動 普天間中学校 教諭 野島 崇

これからの展望

中間発表会でのご指摘、ご助言、大変参考になりました。ありがとうございました。

これまで様々なごっこ遊びを子ども達と楽しんできました。今後は理論研究を踏まえ、12月の検証保育に向け、子ども達の実態を把握しながら、興味・関心に沿う活動を展開できるように実践を進めていきます。その中で、幼児同士の関わりを深めていけるよう、遊びをつないでいき、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるように援助していきたいと思えます。

期待される子ども達の変容

今まで様々なごっこ遊びをすることで、自分らしさを表現したり、友達の思いに気付き、人との関わりを深めていくことができました。

今後は、子ども達がそれぞれに楽しんできた活動をドキュメンテーション等を活用して全体に知らせ、今まで関心を持たなかった友達の遊びにも、気付かせていきます。

子ども達の興味・関心は日々変化していくものです。子ども達の気持ちに寄り添いながら、子ども同士の好奇心をつなげていき、みんなで決めた目標に向かって、子ども達なりに試行錯誤したりする中で、一緒に遊ぶことを楽しめるようになることを期待しています。

これからの展望

中間発表会では、たくさんのご指摘、ご助言を受けました。大変参考になりありがとうございました。

理論研究を踏まえ、12月からは検証授業を実践していきます。「考え・議論する道徳の授業」にむけて次の視点で授業を実践していきます。

- ・児童が主体的になれるような課題設定の工夫や、授業のねらいを明確にし、児童の道徳性を養う。
 - ・授業形態を工夫し多様な意見や考えを引き出す。
 - ・児童の心を揺さぶる「発問」を吟味する。
- 以上のことを踏まえ、授業実践に臨みたいで。

期待される子ども達の変容

短期間の研修で、子どもの大きな変容は見られないかもしれませんが、道徳的価値について、自分なりの考えを持ち、「もっと考えたい」と主体的に探究し、道徳の授業の中において「よく考えた」と学びを実感できる授業を行いたいと思えます。また私自身も、子ども達と一緒にあって、納得解を導き出せるように、子ども達と共に学び合い、探究していくことを楽しみにしています。

また、児童間や教師との対話を通して、子ども達が考え深め、自己の考えを自分なりに確立していく子どもの姿を期待します。

これからの展望

この度の中間検討会では、様々なご指摘、ご助言をいただきました。今後の検証授業を実施する上で、大変参考になることばかりでした。

これから、テーマを検証するための検証授業に移っていきます。学級活動において「よりよい人間関係」を形づくるために「アサーション」という手法がどれだけ有用なのかを、生徒間、または生徒と教師との話し合い活動を通して検証していきます。

これによりどのように生徒が成長し、変容していくのかイメージし、楽しみながら授業を行います。

期待される子ども達の変容

短期間での検証のため、生徒の大きな変容は見られないかもしれませんが、自分も相手も大切にすること、アサーティブな自己表現を学ぶことで、生徒がこれまで使ってきた「話し方」や「聞き方」などを少しでも意識できるようになるであろうと考えています。

また、そのことを活かし、学級における話し合い活動では、相手の意見を尊重する気持ちや、自分の素直な気持ちや考えを大切にしながら、学級の総意にむけて、合意形成を互恵的に図れるようになることを期待しています。